

今後の活動予定等は、決まり次第お知らせいたします。

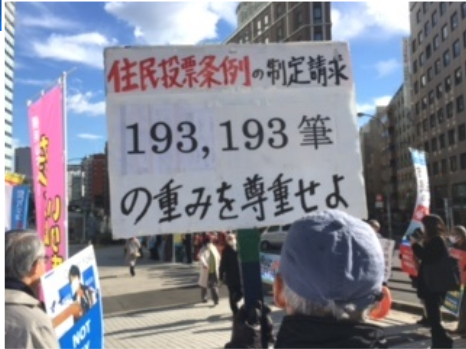
みんなで止めよう カジノ ニュース STOP

発行元
カジノ誘致反対横浜連絡会
080-9747-6721
Fax 045-345-9664

与党の暴挙許さぬ！

民意広げ、誘致撤回へ

傍聴・包囲行動に連日多くの市民が駆けつけた



引き続き闘いをよびかける岡田運営委員長

カジノ誘致の是非を決める住民投票条例制定直接請求を審議する臨時市議会が、一月六・七・八日に開催されました。

市民軽視する与党

議会に提出する条例に林市長は「住民投票に意義を見出せない」「二元代表制が機能している」との意見を付け「住民投票は必要ない」と否定的な態度でした。

制定に反対の自民党は「軽々しく市民に判断を委ねる問題ではない」などと述べ、市政運営の大きな問題であるカジノ誘致を、市議会だけで決めようとする態度に終始しました。

三人が意見陳述

七日の常任委員会では、署名請求人の水上裕之さん（横浜港運協会理事）、大川隆司さん（弁護士）、藤田みちるさん（市民の会共同代表）の三人が、それぞれの立場から意見陳述にたちました。

八日の本会議採決では、立憲・無所属フォーラム、日本共産党市議団、神奈川

ネットと無所属四人の三十四人が賛成、反対は自民・公明の五十一人でした。

民意消し去れない

閉会後の報告集会では、住民自治も民主主義も踏みこじめる市長と与党の暴挙に、怒りの声があがるとともに、この民意は消し去ることはできない、引き続き運動を広げようとおためため決意を固めました。

夏の市長選挙へ

この間、活動への参加、ご支援等頂いた皆さん、本当にありがとうございます。カジノ誘致反対運動は今後も続きます、国に申請する期間は二〇二一年十月一日から二〇二二年四月二十八日までとなり、現在の林市長の任期では申請できません、林市長に誘致を断念させる活動と八月に予定される市長選挙にカジノ反対の市長候補を擁立し闘いを進めましょう。